

- 1 開会のことば 教 頭
- 2 あいさつ 校 長
- 3 学校運営協議会委員自己紹介（別紙 名簿参照）
- 4 協 議 内 容（司会は会長決定までは学校長、それ以降は会長が行います。）

(1) 学校運営協議会会長の選出について

会長 副会長

(2) 年度当初の学校の様子について・・・・・・・・・・校長

資料別紙

(3) 令和6年度 学校経営方針について・・・・・・・・・・校長

資料別紙

(4) 学校運営協議会年間計画について・・・・・・・・・・教頭

資料別紙

(5) 情報・意見交換（授業参観についてなど）・・・・・・・・各委員の皆様

- A： 自分が小学生のときとはずいぶん違い、子どもたちがしっかりしている。
5年生の読み聞かせ 一般的な指導+個性を感じた。
特別支援学級の児童数が多い、普通学級との関わりは？
- B： タブレット、モニター等、教科書等もフルカラー、先生方がソフトな話し方
全員に話しかけている。ほめている、急かさない。子供の寄り添っている。
その一方でいじめや不登校が多いのはなぜか。
- C： 1年生が先生の話に集中している。入学式で気になった子が今後どうなるか
- D： 図書室開きを初めて見学した。落ち着いているので、このまま過ごせれば。
教科書に車椅子が描かれていた。障害のある子も自然に一緒に過ごす時代。
一人っ子が増えて、子ども同士のコミュニケーションに慣れていない子が増えたことが、いじめととらえてしまうのかも。
- E： 子どもたちが新学期でワクワクしている。入学式では1年生が落ち着かなかったが、すでに落ち着いて姿勢よくしている。
高学年はタブレットを使いこなしている。
- F： 1年生が集中して授業を受けている。成長が楽しみ。友達の良いことを真

似している、あいさつ、授業態度等。

G： 6年1組学級会でタブレットを使用せずに行っていた。タイプレットがないのも良いものだ。

H： 先生が子どもたちをすでに理解していて、クラス経営ができてきている。学校で配慮していただいているのに、不登校が多いのはなぜか。

校長 年間で30日以上欠席が不登校となる。長期連続は5、6名。
言葉の受け止め方で重く受け止めてしまう子がいる、家庭の状況もある。

教頭 ふじのこが孤立しないか：交流学級があり一緒に過ごす時間を設けている。
ふじのこ3クラス一緒の授業もある。
いじめの増加：いじめの認知が増えているため。解消を100%にする。
配慮が必要な児童：保護者とも連携して取り組む。複数の職員で対応する。

藤小学校の課題

- ・子どもたちの課題はない。先生方の働き方改革のために、学校応援団の活動、外部委託などを進めることを考えていくべきでは。
- ・学校応援団をいかに増やすか。子どもたちがより良い学校生活を送るために。

5 その他 連絡事項

- ・第2回藤小学校運営協議会開催日時（予定）
令和6年6月22日（土）学校公開日 10時15分～
- ・費用弁償について 交通費を支給します。

6 閉会のことば

教 頭